

第23回秋田CTテクノロジーフォーラム講師紹介



特別講演 池田龍二先生（熊本大学病院）

「PLURALITYと戦略的思考が生む現場改革 - タスクシェアによる放射線部門の最適化 -」

ご略歴

平成7年 熊本大学医療技術短期大学部 卒業

平成29年 熊本大学医学部附属病院 副診療放射線技師長

2022年から熊本大学病院中央放射線部タスクシェア推進リーダーとして、
熊大病院診療放射線技師のタスクシェアを推進

受賞（タスクシェア・シフト関連）

第17回九州放射線医療技術学術大会 学術奨励賞受賞演題

「戦略的思考によるタスクシェア推進の取り組み」

ご講演内容

多様な視点（Plurality）と戦略的思考を基盤に、診療放射線技師によるタスクシェアの実践を、
当院での経験を交えて紹介する。

静脈路確保や造影剤・RI投与、抜針・止血など業務分担の拡大と教育体制の整備、
さらに組織体制の再構築により、生産性向上と医療安全の両立を実現したプロセスを解説する。

第23回秋田CTテクノロジーフォーラム講師紹介



基調講演 荒木隆博先生（山形県立中央病院）

「その選択は、患者にとって最適か？－患者中心のセーフティマネジメントー」

山形県中における主な業務実績(一部抜粋)

- ・ 放射線部Total Quality Management (QCミーティング・KAIZEN活動)
- ・ 患者急変時対応シミュレーショントレーニングや講演を通じた医療安全運用の構築
- ・ 医療放射線安全管理リーダー:運営ならびにCT線量管理・精度管理・被ばく相談
- ・ CT検査業務の標準化:エビデンスに沿った検査方法の確立ならびに検査の最適化
- ・ 医療安全文化の醸成を目指した放射線部低レベルインシデント報告運用の構築

ご講演内容

CT検査における医療安全は、いまや「ルールの遵守」だけでは語り尽くせない段階にあります。造影CT検査では、血管外漏出や副作用、腎機能への配慮といったリスクが常に存在し、加えて中心静脈ラインを使用する際の技術的・安全的課題も少なくありません。こうした一つひとつの“選択”や“判断”が、患者の安心と安全、そして診療の質に直結しています。

今回の講演では、「患者中心のセーフティマネジメント」をキーワードに、造影CTにおける安全確保の具体策をご紹介します。自施設での取り組みとして、血管外漏出防止に向けた工夫、副作用対策や腎機能低下患者への対応、中心静脈ライン使用時の注意点を上げます。さらに、お時間が許せば、日常の低レベルインシデント報告、KAIZEN活動を通じた安全文化の醸成についても共有いたします。現場で生まれた具体的な事例や工夫をもとに、「使える安全」「語れる安全」をともに考え、日々の実践に少しでもお役立ていただければ幸いです。